

風車メンテ、興味津々

能代火力科 技高生21人が体験

能代科学技術高校の生徒が 風力発電用風車のメンテナ
ンスを体験する講座が15日
能代市の東北電力能代火力
発電所内に設置された訓練
施設「風力トレーニングセ
ンター」で開かれ、機械科の2年生21人が参加し
た。

能代火力科の生徒は、工場見学や実習で風車のメンテナ
ンス作業を体験したが、ハンドルの回転やギアボックスなど、実際に使
われていた風車の部品を置いた。生徒は工具や測定器を使い、ハサ
キの点検、ボルトを締める作業を体験したが、ハ

スなどの保護具を試着し
た。風力発電設備の点検、管理を行っている東北電力リニアアルエナジー・サービスの社員が生徒に作業の手順を教え、風車が1万台以上の部品でできていること、法律で半年に一度の点検が定められていることも解説した。

本県沖では洋上風力発電の導入が進み、今後はメンテナンスを担う人材の需要が増えると見込まれている。講師は人材育成の一環として東北経済産業局が企画した。能代塾は今年8月に完成し、生徒の受け入れは今回が初めて。受講した平原零さんは「安全確認を細かく行っていくことなどを初めて知った。県内就職を考えており、風車メンテナンスに興味を持った」と話した。

(佐藤慶)

©秋田魁新報社



風車のメンテナンスを体験する能代科学技術高の生徒

秋田魁新報 2023年11月20日付 県北